

## GPS/JIPS 安全性要約書

## 物質名 (SUBSTANCE NAME)

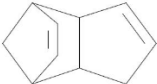
ジシクロペンタジエン (dicyclopentadiene, CAS No. 77-73-6)

## 物質の概要 (GENERAL STATEMENT)

ジシクロペンタジエンは、無色透明で樟脳のような不快臭のある液体または固体です。この物質は工場内で合成樹脂の原料として用いられています。

製造時や使用等では適切な保護マスク、保護手袋の着用が推奨されます。また、環境への負荷を最小化するために漏洩防止策を講じるとともに、定期的な監視や設備の保守点検が推奨されます。

## 化学的特性 (CHEMICAL IDENTITY)

項目	内容
一般名	ジシクロペンタジエン
英名	dicyclopentadiene
CAS番号	77-73-6
その他の番号	官報公示整理番号(化審法, 安衛法)(4)-634 EC番号 201-052-9
分子式	C <sub>10</sub> H <sub>12</sub>
構造式	
その他の情報	特になし

## 使用・用途と適用 (USES AND APPLICATIONS)

当社製品の主な用途	工場内で合成樹脂の原料として用いられます。
-----------	-----------------------

## 物理化学的特性 (PHYSICAL/CHEMICAL PROPERTIES)

外観(物理的状态)	液体
色	無色透明
臭気	樟脳のような不快臭
密度	0.98 (20 °C)
融点/沸点	8 °C / 166.6 °C

可燃性/引火性	GHS引火性液体 区分3:引火性液体及び蒸気
引火点	32.2 °C(タグ密閉式)(純度95%)
爆発上下限界	下限 1%、上限 7%
自己発火温度	510 °C (純度95%)
蒸気圧	1.33 KPa(47.6 °C)
分子量	132.21
水溶解性	水に不溶。有機溶剤に易溶。
オクタノール-水分配係数	LogKow : 2.78

## ヒト健康影響 (HEALTH EFFECTS)

影響評価	結果 (GHS <sup>*1</sup> 危険有害性分類)
急性毒性(経口)	飲み込むと有害(区分4)
急性毒性(経皮)	区分外 <sup>*3</sup>
急性毒性(吸入)	(気体)分類対象外 <sup>*2</sup> (蒸気)吸入すると生命に危険(区分2) (粉塵)分類対象外 <sup>*2</sup> (ミスト)分類できない(毒性報告の情報はない)
皮膚腐食性/刺激性	皮膚刺激(区分2)
眼に対する重篤な損傷性/刺激性	眼刺激(区分2B)
呼吸器感作性	毒性報告の情報はない(分類できない)
皮膚感作性	区分外 <sup>*3</sup>
生殖細胞変異原性	毒性報告の情報はない(分類できない)
発がん性	毒性報告の情報はない(分類できない)
生殖毒性	区分外 <sup>*3</sup>
特定標的臓器 (単回ばく露)	臓器(肝臓、呼吸器系、腎臓)の障害(区分1(肝臓、呼吸器系、腎臓)) 眠気またはめまいのおそれ(区分3(麻酔作用))
特定標的臓器 (反復ばく露)	長期または反復ばく露による臓器(腎臓)の障害(区分1(腎臓)) 長期または反復ばく露による臓器(肺、循環器、肝臓)の障害のおそれ(区分2(肺、循環器、肝臓))
吸引性呼吸器有害性	毒性報告の情報はない(分類できない)
備考	<sup>*1</sup> GHS: Globally Harmonized System of Classification and Labelling of Chemicals。化学品の分類および表示に関する世界調和システム。 <sup>*2</sup> 分類対象外: 信頼性あるデータがない、またはデータ不足のため分類できない <sup>*3</sup> 区分外: GHS規定の最も低い有害危険性区分より更に低い危険有害性と考えられる。

## 環境影響 (ENVIRONMENTAL EFFECTS)

影響評価	結果 (GHS <sup>*</sup> 危険有害性分類)
水生環境有害性(急性)	水生生物に毒性(区分2)
水生環境有害性(慢性)	長期的影響により水生生物に毒性(区分2)
備考	<sup>*</sup> GHS: Globally Harmonized System of Classification and Labelling of Chemicals。化学品の分類および表示に関する世界調和システム。

環境運命・動態	結果
---------	----

生分解性	難分解
生物蓄積性	生物蓄積性は低いと考えられます。(生物濃縮係数BCF=58.9~330)
PBT/vPvBの結論	PBT*、vPvB**に該当しません。
備考	*PBT: Persistent, bioaccumulative and toxic(環境中に残留性し、高い生物蓄積性と強い毒性を有する) **vPvB: very Persistent and very Bioaccumulative (環境中に非常に残留性しやすく、非常に高い生物蓄積性を有する)

## ばく露 (EXPOSURE)

作業員および消費者、環境へのばく露は、以下の取扱い時におこる可能性がある。

詳細	No.	当社製品の主な用途におけるばく露の可能性(ばく露経路)
作業員ばく露	1-1	本物質の製造時および合成原料としての使用時には、管理されたばく露のある閉鎖系・連続プロセスでの作業において、メンテナンス、サンプリングおよび装置故障の際等に、作業員への経皮・吸入ばく露の可能性がります。専用設備がある条件での対象物質の移し替え作業で作業員への経皮・吸入ばく露の可能性がります。
消費者ばく露	2-1	一般消費者が当該物質を使用することはありません。
環境ばく露	3-1	産業における物質の製造工程から、主に大気及び水環境へ放出される可能性がります。また、他の物質製造のための中間体として使用され、主に大気及び水環境へ放出される可能性がります。
注意事項		他の用途におけるばく露の可能性がする場合、推奨するリスク管理措置を参考に適切な措置を実施してください。

## 推奨するリスク管理措置 (RISK MANAGEMENT RECOMMENDATIONS)

詳細	No.	当社リスク評価結果に基づく推奨する管理措置
対作業員ばく露	1-1	使用時の作業の際は、適切な保護メガネ、保護マスク、保護手袋を着用する。屋内では局所排気や良好な換気の元、作業してください。 作業責任者は、作業員に適切な保護具の選択や正しい使用方法、または作業現場の管理方法などの教育をしてください。
対消費者ばく露	2-1	一般消費者が当該物質を使用することはありません。
対環境ばく露	3-1	本物質は主に大気および水に放出されやすい特徴を持ちます。排ガス・処理排水処理施設を設置し、漏洩防止などの対策を講じるとともに、日常管理、取り扱いに注意を払ってください。
その他取扱注意事項		熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけてください。
注意事項		通常での取扱い、緊急時対応、廃棄時、輸送時の管理措置は、SDSを参照して下さい。

## 政府機関のレビュー状況 (STATE AGENCY REVIEW)

有害性評価	レビュー状況
国際化学物質安全性カード	<a href="http://www.inchem.org/documents/icsc/icsc/eics0873.htm">http://www.inchem.org/documents/icsc/icsc/eics0873.htm</a>
OECD SIDS (1998). Dicyclopentadiene (CAS No. 77-73-6): Contains	<a href="http://www.chem.unep.ch/irptc/sids/OECD/SIDS/77736.pdf">http://www.chem.unep.ch/irptc/sids/OECD/SIDS/77736.pdf</a>

SIDS Initial Assessment Report for  
7th SIAM, SIDS Initial Assessment  
Profile, and SIDS Dossier.

## 法規制情報／分類・ラベル情報

(REGULATORY INFORMATION / CLASSIFICATION AND LABELLING)





### 法規制情報

法律	規制状況
消防法	第4類 第二石油類(非水溶性)
労働安全衛生法	危険物・引火性の物 (施行令別表第1第4号) 名称等を通知すべき危険物及び有害物 (法第57条の2、施行令第18条の2別表第9)
海洋汚染防止法	有害液体物質(Y類物質) (施行令別表第1)
化学物質排出把握管理促進法	第1種指定化学物質(法第2条第2項、施行令第1条別表第1)
国連分類	3
国連番号	2048

### GHS分類情報

ハザード項目	分類結果(危険有害性情報)
引火性液体	区分3:引火性液体及び蒸気
急性毒性(経口)	区分4:飲み込むと有害
急性毒性(経皮)	区分外
急性毒性(吸入)	(気体)分類対象外 (蒸気)区分2:吸入すると生命に危険 (粉塵)分類対象外 (ミスト)分類できない(毒性報告の情報はない)
皮膚腐食性/刺激性	区分2:皮膚刺激性
眼に対する重篤な損傷性/刺激性	区分2B:眼刺激
呼吸器感作性	分類できない(毒性報告の情報はない)
皮膚感作性	区分外
生殖細胞変異原性	分類できない(毒性報告の情報はない)
発がん性	分類できない(毒性報告の情報はない)
生殖毒性	区分外
特定標的臓器(単回ばく露)	区分1(肝臓、呼吸器系、腎臓):臓器(肝臓、呼吸器系、腎臓)の障害 区分3(麻酔作用):眠気またはめまいのおそれ
特定標的臓器(反復ばく露)	区分1(腎臓):長期または反復ばく露による臓器(肝臓)の障害 区分2(肺、循環器、肝臓):長期または反復ばく露による臓器(肝臓)の障害のおそれ
吸引性呼吸器有害性	分類できない(毒性報告の情報はない)
水生環境有害性(急性)	区分2:水生生物に毒性
水生環境有害性(慢性)	区分2:長期的影響により水生生物に毒性

### ラベル情報

絵表示またはシンボル	   
注意喚起語	危険
危険有害性情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 引火性液体及び蒸気</li> <li>・ 飲み込むと有害</li> <li>・ 吸入すると生命に危険</li> <li>・ 皮膚刺激</li> <li>・ 眼刺激</li> <li>・ 臓器(肝臓、呼吸器系、腎臓)の障害</li> <li>・ (麻酔作用)眠気またはめまいのおそれ</li> <li>・ 長期または反復ばく露による臓器(腎臓)の障害</li> <li>・ 長期または反復ばく露による臓器(肺、循環器、肝臓)の障害のおそれ</li> <li>・ 水生生物に毒性</li> <li>・ 長期的影響により水生生物に毒性</li> </ul>

## 連絡先 (CONTACT INFORMATION WITHIN COMPANY)

会社名	日本ゼオン株式会社
住所	東京都千代田区丸の内1-6-2
担当部門・担当者	品質保証部
電話番号/FAX番号	03-3216-1255/03-3216-0567

## 発行・改訂日 (DATE OF ISSUE / REVISION) その他の情報 (ADDITIONAL INFORMATION)

初版：2014年2月24日発行

改訂：

改訂日	項目	改訂箇所	版

特記事項：

なし

## 免責条項 (DISCLAIMER)

この製品安全性要約書の目的は、対象品の情報を簡単な概要として提供することであり、リスク評価のプロセス及びヒト健康や環境への影響などの専門的な情報を提供するものではありません。また、安全性データシート(SDS)、または化学品安全性報告書(CSR)などのリスク評価に代わる文書として作成されたものではありません。また、記載内容は現時点で入手できる法令、資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、いかなる保証をなすものではありません。